

杉並区社会福祉協議会 実施計画(平成21～23年度)
区民等の意見提出手続の実施状況一覧

分類集計

	A	B	C	計
I 実施計画作成の趣旨	2		2	4
II 計画の内容	3	4	6	13
III 3カ年計画			1	1
資料編	1	1		2
その他	2	2	2	6
計	8	7	11	26

A・・・計画に反映するもの

B・・・事業実施の中で具体化するもの

C・・・参考意見とするもの

杉並区社会福祉協議会 実施計画(平成21～23年度)についての区民等意見

整理	頁	項目名	意見(要旨)	分類	社協の考え方
1	2	I-2	計画策定の目的	A	社協の使命についての記述を追記します。
2	3	I-3	3年後のめざす姿	C	社協の理念を基礎に体系図を作成したので、このような表現になっています。
C				社協の理念を基礎に体系図を作成したので、このような表現になっています。	
A				事業の性格上、数値化しにくい事業も多くありますが、出来る限り数値化します。	
5	6	II	計画の内容	C	区民に広く社協事業を理解していただくために、今年度はほぼ全事業を掲載しました。
C				計画改定時には5か年計画を目指します。今回は、社協全体の事業紹介に重点を置きました。	
C				年度ごとの事業計画書で、前年度比を記載しています。	
A				21年度事業については、確定した予算を掲載します。翌年度以降は、現時点では予測できないため21年度と同額を記載しています。	
A				事業の性格上、数値化しにくい事業も多くありますが、出来る限り数値化します。	
10	9	II-1-1	広報事業	B	広報紙だけではなく、他の社協PR事業(イベント等)なども効果的に活用し、社協の機能や役割の理解促進に努めます。社協全体で総合的に検討し実施していきます。
A				掲載します。	
C				区とは別の法人であり、社協だけ区報に折り込む事は難しい。現在は広告の少ない月曜日に発行しています。	
13	10	II-1-2	社会福祉普及事業	B	開催方法等検討しますので、参考意見として提案します。
C				その他の方法について、社協内部で検討します。	
15	11	II-1-3	地域福祉活動推進事業	C	今後の課題としており、21年度に内部で検討します。
16	12	II-1-4	ボランティア活動推進事業	B	現在実施している事業の中で、拡大します。21年度行動計画に記載します。
17				B	広報事業、社協PR事業(イベント等)など、社協全体で総合的に検討し実施していきます。効果的な情報を共有していきます。

杉並区社会福祉協議会 実施計画(平成21～23年度)についての区民等意見

整理	頁	項目名	意見(要旨)	分類	社協の考え方
18	30	Ⅲ 基盤整備	地域ニーズの把握と分析、企画開発とあいまって、検討してもらいたい。	C	今後内部で検討していきます。
19	33	資料編 行動指針	それぞれの向上度合いを定量化すべきだと思う。(3年でのくらい改善するのか?)	B	三つの向上それぞれに、具体的な行動(求められる行動)があります。全職員がその指針どりに行動できることが目標です。21年度は、顧客満足度向上運動のなかで、「仕事の見直しチェックシート」40項目を自己採点しますが、すべて○になることが目標となります。
20			杉並区における高齢者の現状や介護認定の状況、障害者手帳の交付件数、ケア24の所在状況、社協の予算や仕組みなど、社会福祉や社協に関する基礎的な資料を掲載してはどうか。	A	社協の計画なので、区の資料を載せることはできませんが、ケア24の所在地は掲載します。予算の仕組みなどについては、検討します。
21		その他	多岐にわたる計画を円滑に進める為にも、多くの人々に周知してもらう事が必要であり、広報等での紹介の他、「あんさんぶる」の集客力を高めることも急務であると思う。	C	今後も社協広報だけではなく、イベント、区広報紙への掲載依頼等PRIにつとめます。「あんさんぶる荻窪まつり」への参加もそのひとつです。「あんさんぶる荻窪」は複合施設であり、その集客力を高めることが、社協を理解していただくことにつながることは難しいと考えますが、様々な方法で努力をしていきます。
22			公益事業体といえども赤字のたれ流しは許されない。計画と併せて収益性も追求すべきであると思う。	C	社会福祉協議会の性格上、収益性を追及していくことは難しいが、経費の効率化、費用対効果等を考慮しながら入れながら事業を実施していきます。
23			町会自治会から会費を集金するだけでなく、町会自治会の定期総会や定例会に社協職員がたまには参画し、相互の意見交換を行ってはどうか。	B	社協新規事業等の説明に出向いたり、町会自治会からの依頼に応え、事業説明等に行っています。今後、連携のあり方等について、他の方法も検討していきます。
24			難しい問題とは思いますが、ささえあう地域づくり、町づくりには行政が縦割りで縄張り区分を行っている間は、その下の町会長及び世話役達も親身に地域づくりには参画しないのではないかと。	B	行政の担当課とも協議しながら連携を強化していきます。
25			ほとんど文章と表だけから作成されているので、区民が気軽に読めたり、関心をもって手にしたりできるよう、カットや図案も入れ、高齢者にも親しみのもてるわかりやすい体裁にしてはどうか。	A	カット等を挿入していきます。
26			言葉や事業名、単語などの意味や定義を、表の欄外にわかりやすく解説していくと、読みやすくなる。 例:うえるフェスタ、介護予防事業、あんしん協力員、ケア24、権利擁護、障害者自立支援事業、生活支援員	A	一部記載します。